

大雨による防災情報 (第11報)

湯沢河川国道事務所
災害対策支部【警戒体制(砂防)】継続

現在、湯沢河川国道事務所では、8月9日に発生した仙北市供養佛地区の土砂災害以降、災害対策支部警戒体制(砂防)を継続しています。
管内にある砂防施設について、本日7時より点検を開始し、13施設のうち11施設の点検を完了しましたが、異常は確認されませんでした。なお、未点検の2施設については、水位が低下した後に点検を実施いたします。

◆砂防降雨状況(9月17日12時00分現在)

山系	雨量観測所 (仙北市)	連続雨量	時間雨量 11~12時
八幡平山系 (秋田県側)	黒湯	0mm	0mm
	熊ノ台	0mm	0mm
	生保内	0mm	0mm
	小先達	0mm	0mm

※警戒体制基準雨量：連続雨量120mm、または時間雨量40mm

※注意体制基準雨量：連続雨量80mm

◆災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	解除
砂防		8月9日 9時00分	—	—

◆その他

現時点では、当該地区での土砂災害情報は入っておりませんが、引き続き気象情報にご注意願います。

※アンダーライン箇所が前回からの更新箇所

発表記者會：秋田県政記者會、横手記者會、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2

TEL 0183-73-3174 (事務所代表)

〈砂防〉 調査第一課長 畑山 作栄 (内線351)